

平成30年度 広島市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 調査結果概要版

調査の概要

- (1) 調査目的：子育て家庭の実態や子育て支援に関するニーズ等を把握し、「広島市子ども・子育て支援事業計画」策定のための基礎資料とします。
- (2) 調査実施方法：郵送配布回収、無記名自記式
- (3) 調査時期：平成30年11月～12月
- (4) 調査地域：広島市全域
- (5) 調査対象者：広島市内に居住する就学前児童(0～5歳)及び就学児童(6～11歳)のいる世帯
- (6) 抽出方法：住民基本台帳より、居住区及び平成30年4月1日現在の満年齢別に区分し無作為抽出
- (7) 送付数：就学前児童:8,000世帯 就学児童:5,500世帯
- (8) 調査結果の表示方法：
○ 表やグラフ中の「n」は、質問に対する回答者数を表します。
○ 比率(%)は小数点以下第2位を四捨五入で算出しているため、合計が100%にならないことがあります。
○ 2つ以上の回答(複数回答)を求めた質問では、比率(%)の合計が100%を超えることがあります。
○ 表やグラフ、文章において、選択肢等の表現を一部省略している場合があります。
○ グラフでは見やすさを優先し、「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。

(9) 送付数及び回収数

◆ 就学前児童

対象となる 子どもの年齢	送付数	回収数	回収率
0	2,500	1,141	45.6%
1	1,308	608	46.5%
2	1,292	563	43.6%
3	960	455	47.4%
4	972	454	46.7%
5	968	418	43.2%
不明		28	
就学前児童 計	8,000	3,667	45.8%

◆ 就学児童

対象となる 子どもの年齢	送付数	回収数	回収率
6	955	448	46.9%
7	963	437	45.4%
8	982	432	44.0%
9	870	384	44.1%
10	885	368	41.6%
11	845	331	39.2%
不明		26	
就学児童 計	5,500	2,426	44.1%
全体	13,500	6,093	45.1%

平成31年3月
広島市こども未来局

調査結果の概要

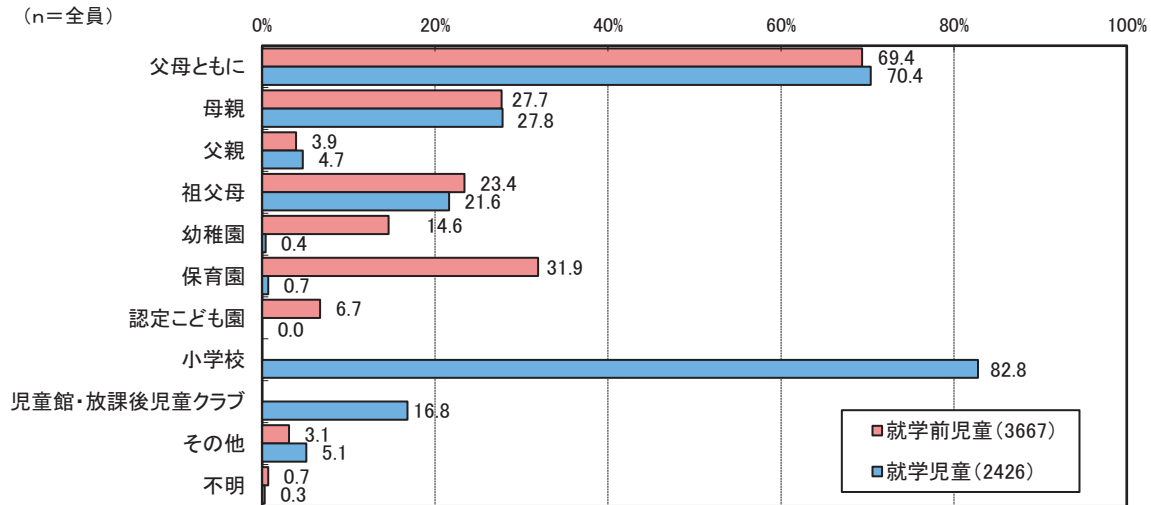
I. 子どもの育ちをめぐる環境、保護者の就労状況等について

I-1. 子どもの育ちをめぐる環境

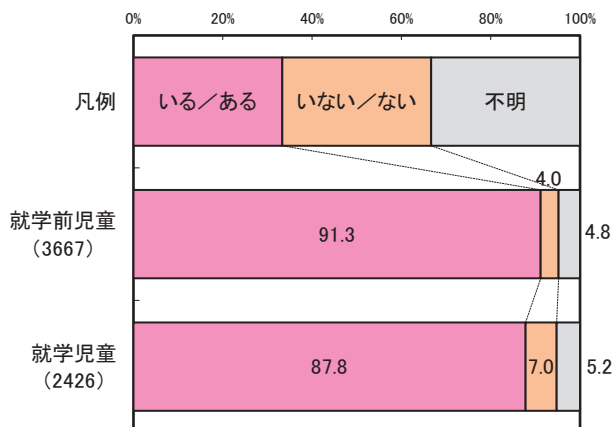
子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人・施設について、就学前児童では「父母ともに」が最も多く、次いで「保育園」となっています。就学児童では「小学校」が最も多く、次いで「父母ともに」となっています。

また、就学前児童の91.3%、就学児童の87.8%が子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人（場所）が「いる／ある」と回答しており、相談先としては、就学前児童、就学児童ともに多くの人が「祖父母等の親族」、「友人や知人」と回答しています。

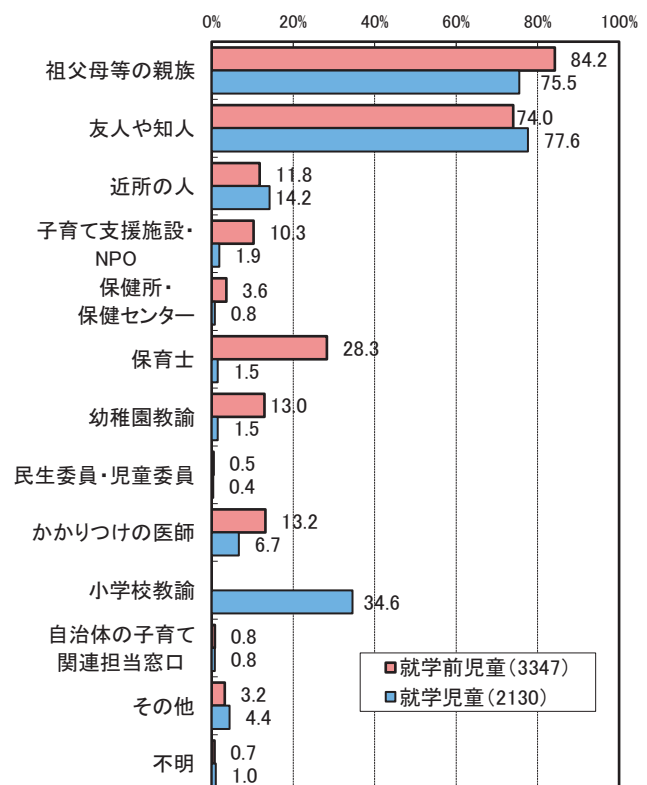
Q 子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのはどなた（どの施設）ですか。（複数回答）



Q 子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所はありますか。
(n=全員)

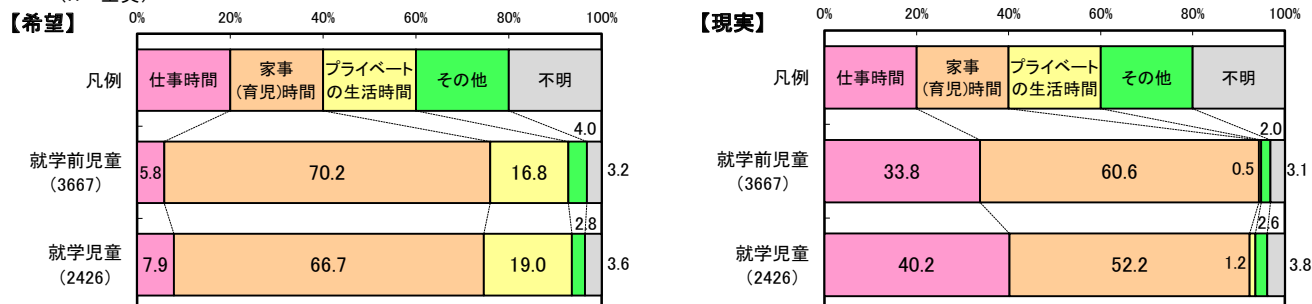


Q 子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、どなた（どこ）ですか。（複数回答）
(n=相談できる人・場所がある人)



生活の中での「仕事時間」、「家事（育児）時間」、「プライベートの生活時間」の優先度について、就学前児童、就学児童ともに「家事（育児）時間を優先」が希望、現実いずれも最も多くなっています。また、希望では、就学前児童の16.8%、就学児童の19.0%が「プライベートの生活時間を優先」と回答していますが、現実では、就学前児童の0.5%、就学児童の1.2%が「プライベートの生活時間を優先」と回答しています。

Q あなたの生活の中での「仕事時間」、「家事（育児）時間」、「プライベートの生活時間」の優先度について、「希望」と「現実」それぞれお答えください。
(n=全員)

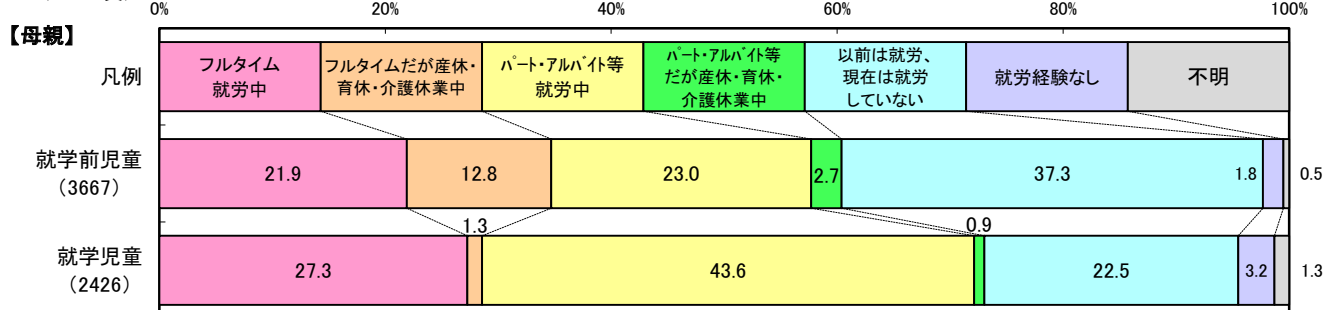


I-2.保護者の就労状況

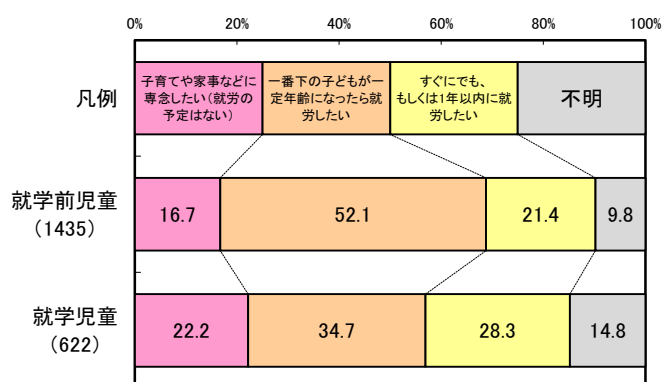
就学前児童の母親の60.4%、就学児童の母親の73.1%が、「フルタイム」または「パート・アルバイト等」で就労中と回答しています。

また、現在就労していない就学前児童の母親の73.5%、就学児童の母親の63.0%が「一番下の子どもが一定年齢になったら就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答しています。「一番下の子どもが一定年齢になったら就労したい」と回答した人の就労希望時期としては、就学前児童の母親では「2～3歳」が最も多く、次いで「6～7歳」となっています。就学児童の母親では「6～7歳」、「12歳以上」が最も多くなっています。

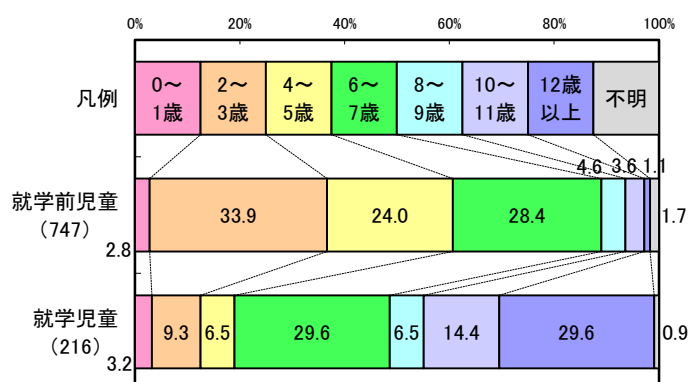
Q 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお伺いします。
(n=全員)



Q 就労したいという希望はありますか。
(n=現在母親が就労していない人)



Q 一番下の子どもが何歳になったら就労したいですか。
(n=一番下の子どもが一定年齢になったら就労したい人)



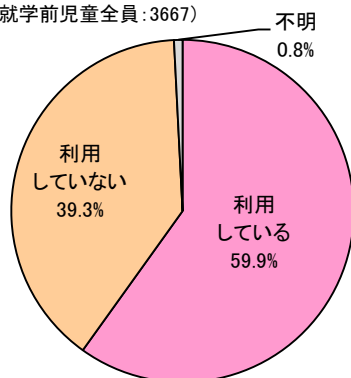
Ⅱ.定期的な教育・保育事業について（対象：就学前児童）

就学前児童の59.9%が現在、定期的な教育・保育事業を「利用している」と回答しており、利用している事業としては、「認可保育園」が最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」となっています。

また、現在の利用の有無に関わらず、定期的に利用したいと考える教育・保育事業の第一希望について、「認可保育園」が最も多く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」となっています。

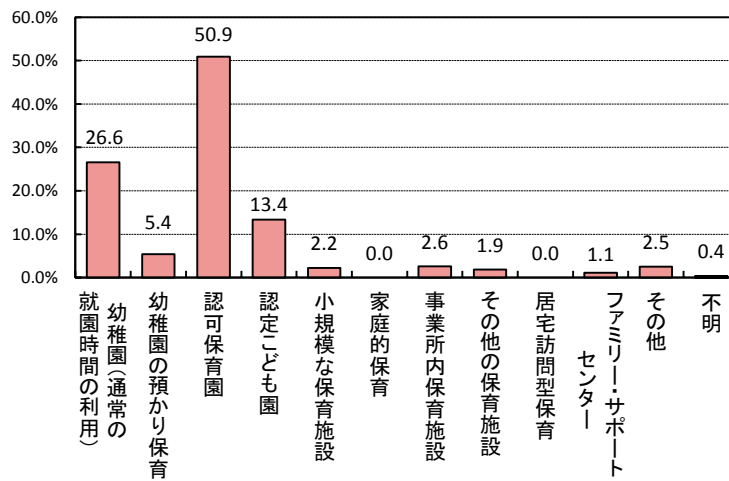
Q 現在、幼稚園や認可保育園などの定期的な教育・保育事業を利用していますか。

(n=就学前児童全員:3667)



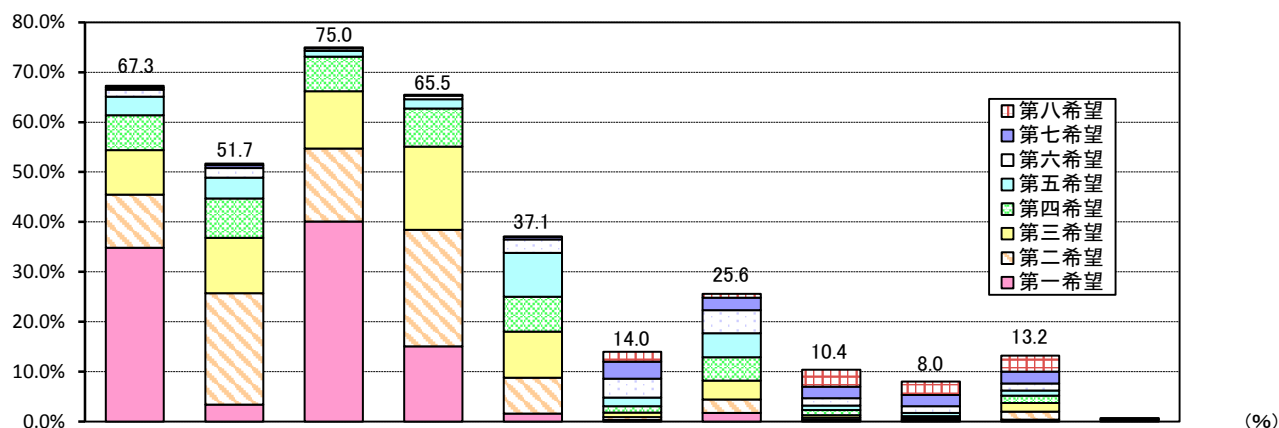
Q 現在、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。（複数回答）

(n=教育・保育事業を利用している人:2197)



Q 現在、利用している、していないにかかわらず、定期的に利用したいと考える平日の教育・保育事業について、利用したい順にお答えください。

(n=就学前児童全員:3667)



	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育園	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	不明
第一希望	34.8	3.4	40.1	15.1	1.6	0.3	1.7	0.3	0.1	0.4	0.4	1.9
第二希望	10.7	22.3	14.6	23.3	7.2	0.6	2.7	0.5	0.3	1.6	0.1	16.0
第三希望	8.9	11.1	11.5	16.7	9.2	0.9	3.8	0.5	0.3	1.7	0.2	35.1
第四希望	7.0	7.9	6.9	7.6	7.0	1.3	4.7	1.0	0.4	1.5	0.0	54.7
第五希望	3.7	4.2	1.2	1.9	8.8	1.7	4.8	0.9	0.6	1.0	0.0	71.3
第六希望	1.4	1.9	0.5	0.7	2.7	3.8	4.6	1.5	1.4	1.4	0.0	80.1
第七希望	0.4	0.6	0.2	0.2	0.5	3.4	2.5	2.3	2.2	2.4	0.0	85.3
第八希望	0.4	0.3	0.0	0.0	0.1	2.0	0.8	3.4	2.7	3.2	0.0	86.8
合計	67.3	51.7	75.0	65.5	37.1	14.0	25.6	10.4	8.0	13.2		

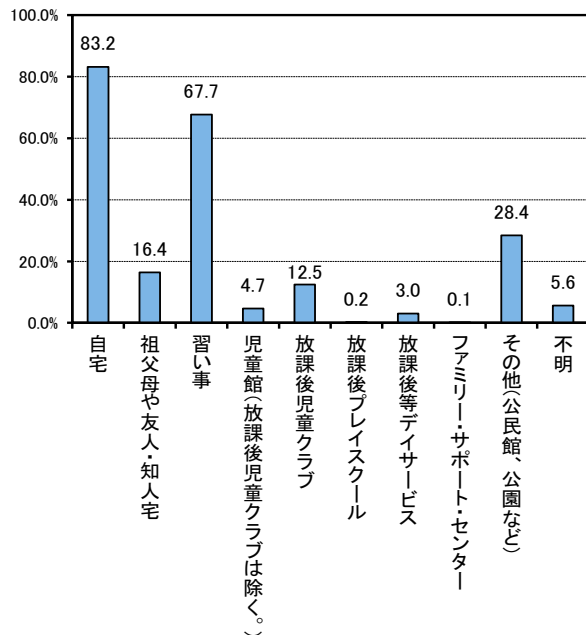
Ⅲ.放課後の過ごし方、病児・病後児保育、一時預かり等について

Ⅲ-1.放課後の過ごし方(対象:就学児童(一部就学前児童5歳以上を含む。))

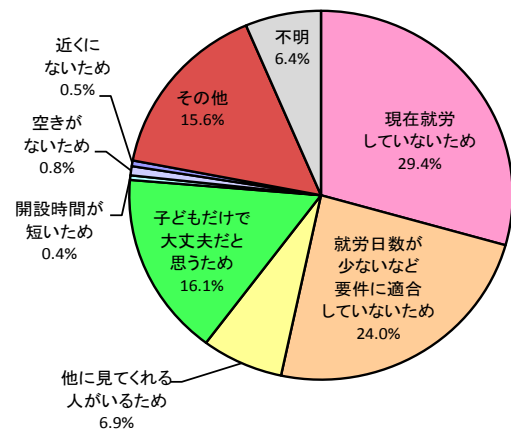
現在、放課後の時間を過ごしている場所について、「自宅」、「習い事」と回答した人が多く、「放課後児童クラブ」と回答した人は12.5%となっています。放課後児童クラブを利用していない理由としては、「現在就労していないため」が最も多く、次いで「就労日数が少ないなど要件に適合していないため」となっています。

高学年の間の放課後を過ごさせたい場所について、「自宅」、「習い事」と回答した人が多く、「放課後児童クラブ」と回答した人は14.1%となっています。

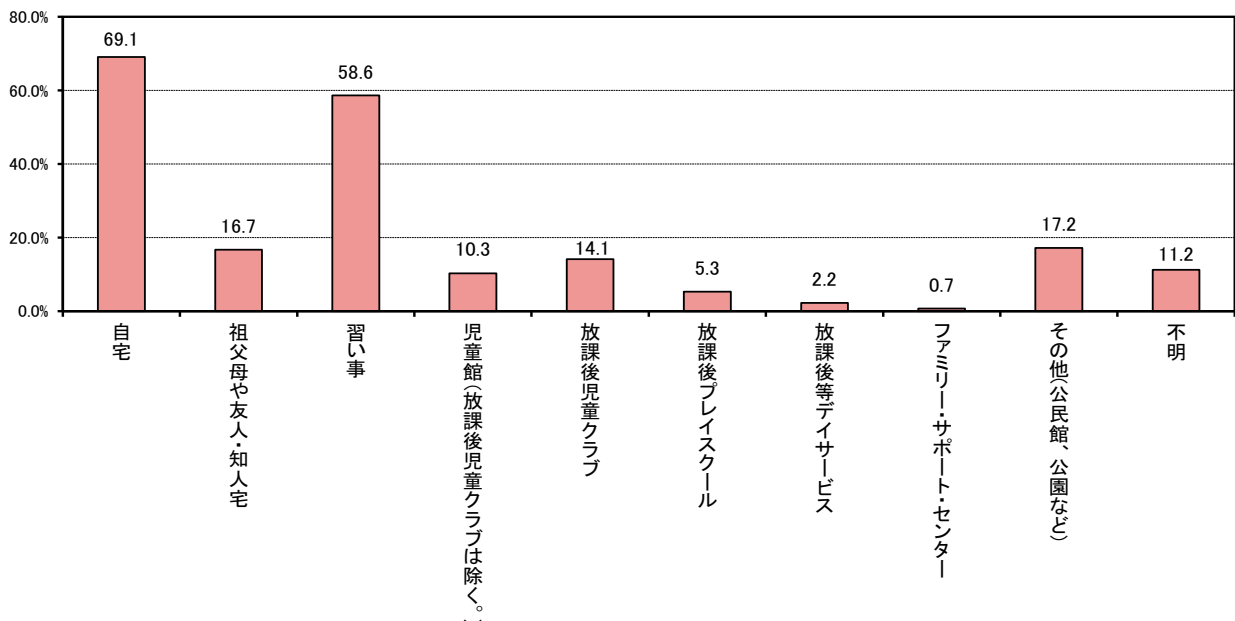
Q 現在、放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。(複数回答)
(n=就学児童全員:2426)



Q 現在、放課後児童クラブを利用していない理由について、最もあてはまる理由はなんですか。
(n=利用していない人:1987)



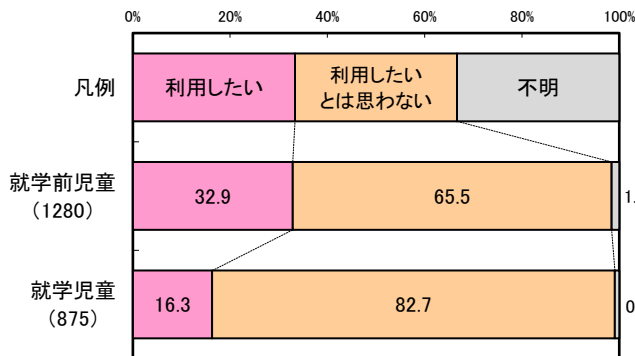
Q 高学年になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。(複数回答)
(n=就学前児童5歳以上:418)



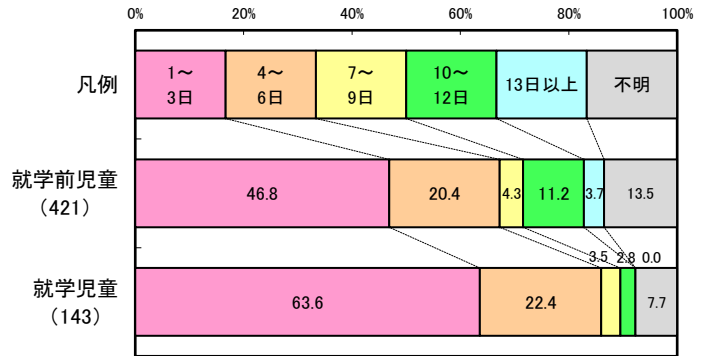
Ⅲ-2.病児・病後児保育(対象:就学前児童(平日の教育・保育事業利用者)、就学児童全員)

子どもが病気やケガの際に父親または母親が休んでみた人のうち、就学前児童の32.9%、就学児童の16.3%が「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答しています。病児・病後児保育施設等を利用したい日数(年間)としては、就学前児童、就学児童ともに「1～3日」が最も多くなっています。

Q 子どもが病気やケガの際、父親または母親が休んでみた人で、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったことはありますか。
(n=父親または母親が休んでみた人)



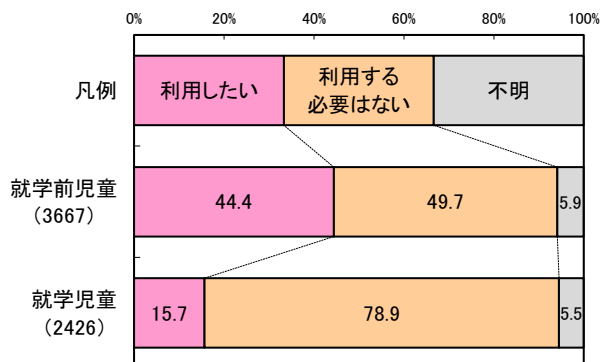
Q 病児・病後児保育施設等を年間何日利用したいですか。
(n=父親または母親が休んでみた人で、病児・病後児保育施設等の利用希望者)



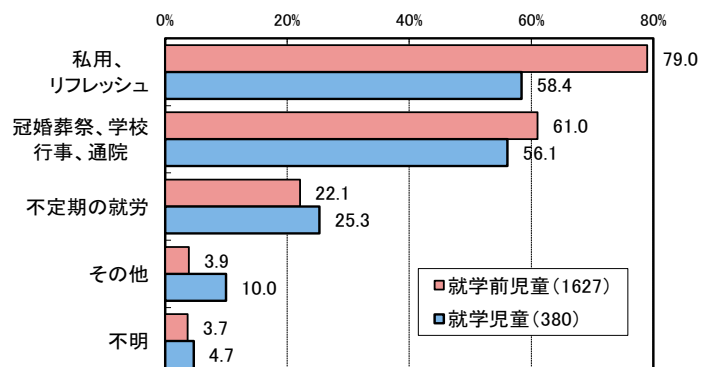
Ⅲ-3.一時預かり等

就学前児童の44.4%、就学児童の15.7%が私用等の目的で、一時預かり等の事業を「利用したい」と回答しています。利用の目的としては、就学前児童、就学児童ともに多くの人が「私用、リフレッシュ」、「冠婚葬祭、学校行事、通院」と回答しています。

Q 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等の事業を利用したいと思いますか。
(n=全員)



Q 利用の目的は何ですか。(複数回答)
(n=利用希望者)



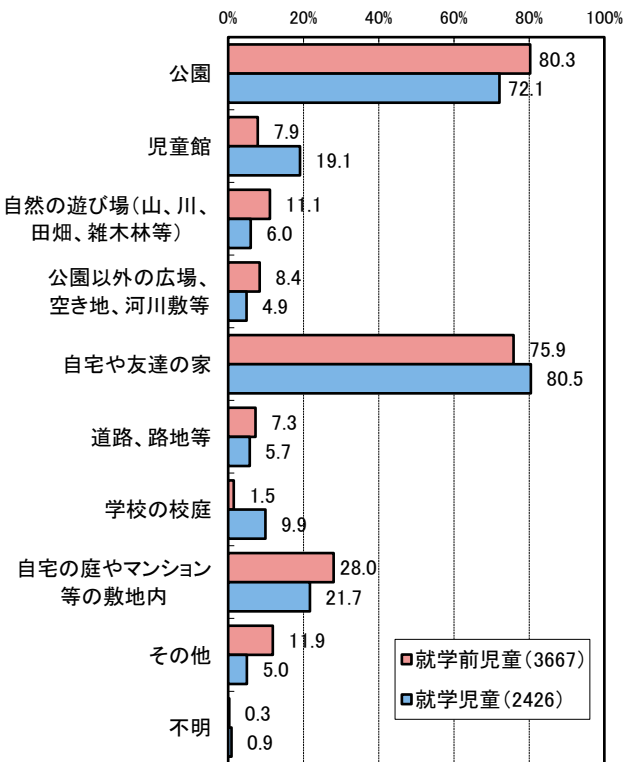
IV.子どもの遊び環境、地域子育て支援拠点事業、子育てに関する悩みや不安感等について

IV-1.子どもの遊び環境

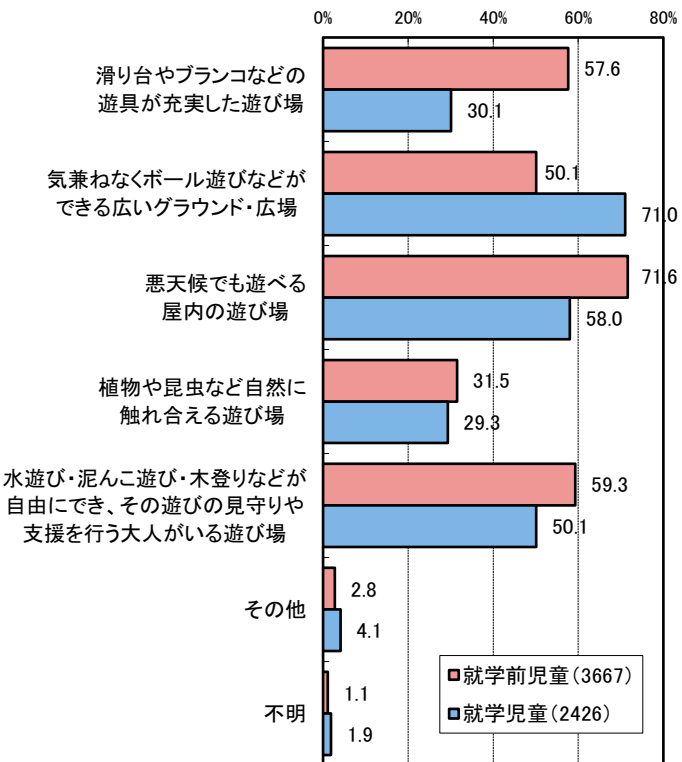
日常的な遊び場について、就学前児童、就学児童ともに多くの人が「公園」、「自宅や友達の家」と回答しています。

また、どんな遊び場があればいいと思うかについて、就学前児童では「悪天候でも遊べる屋内の遊び場」が最も多く、次いで「水遊び・泥んこ遊び・木登りなどが自由にでき、その遊びの見守りや支援を行う大人がいる遊び場」となっています。就学児童では「気兼ねなくボール遊びなどができる広いグラウンド・広場」が最も多く、次いで「悪天候でも遊べる屋内の遊び場」となっています。

Q 日常的な遊び場は主にどれですか。(複数回答)
(n=全員)



Q どんな遊び場があればいいと思いますか。(複数回答)
(n=全員)



IV-2.地域子育て支援拠点事業(対象:就学前児童)

0歳児の保護者の35.6%、1～2歳児の保護者の19.7%が現在、常設オープンスペースを「利用している」と回答しています。今後の利用意向としては、0歳児の保護者の50.5%、1～2歳児の保護者の38.5%が「利用していないが、利用したい」または「すでに利用しているが利用回数を増やしたい」と回答しています。

Q 現在、親子が集まって過したり、相談したり、情報提供を受けたりする場(常設オープンスペース)を利用していますか。
(n=就学前児童全員)

	全体 (人)	利用 している	利用 していない	不明
就学前児童・計	3667	18.7	80.9	0.4
0歳	1141	35.6	63.7	0.7
1～2歳	1171	19.7	79.9	0.3
3歳以上	1327	3.1	96.8	0.2
不明	28	21.4	75.0	3.6

Q 今は利用していないができれば利用したい、または、利用しているが利用回数を増やしたいと思いますか。
(n=就学前児童全員)

	全 体 （人）	が利 、用 し て い ない	をい す 増 る で や が に し 利 用 し た 日 し 数 で	思 わ や 、 た な し 利 用 日 し 数 は	新 た に 利 用 し た	不 明
就学前児童・計	3667	27.1	9.8	58.0	5.1	
0歳	1141	31.6	18.9	44.8	4.6	
1～2歳	1171	28.0	10.5	57.2	4.3	
3歳以上	1327	22.2	1.4	70.2	6.1	
不明	28	39.3	3.6	46.4	10.7	

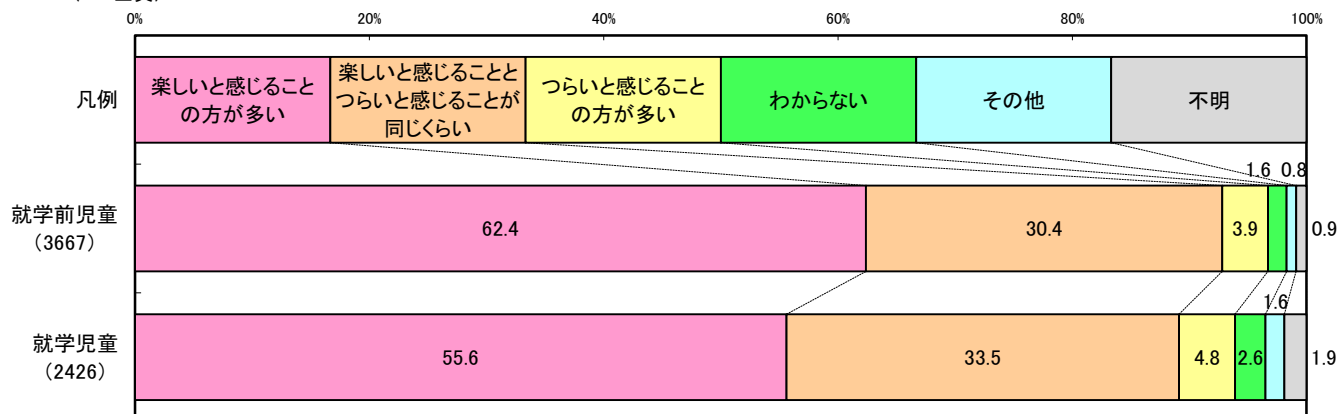
IV-3.子育てに関する悩みや不安感

就学前児童、就学児童ともに半数以上が子育てを「楽しいと感じることの方が多い」と回答していますが、就学前児童の3.9%、就学児童の4.8%が「つらいと感じることの方が多い」と回答しています。

子育ての精神的負担を減らすために必要な支援について、就学前児童、就学児童ともに「子育てにかかる経済的支援の充実」が最も多く、次いで就学前児童では「子どもの一時預かりなど親がリフレッシュするための支援」、就学児童では「配偶者・パートナーの育児参加のための労働環境整備」となっています。

Q 子育てを楽しいと感じることが多いですか、つらいと感じることが多いですか。

(n=全員)



Q 子育ての精神的負担を減らすために、どのような支援が必要ですか。(複数回答)

(n=全員)

